２０１９年（令和元年）８月15日（木）　No. 385　1983年創刊

☆世界政府の樹立を
☆ツケを子どもに回すな
☆生態系の尊重を
毎月５・15・25日発行

１部　90円
半年 1620円
１年 3240円

市民運動新聞

発行：市民運動新聞編集委員会
〒184-0011東京都小金井市東町4-15-29
電話：042-383-6611FAX：042-383-6465
http://shimin-undo-np.jp/

表現の不自由展の揉めごとは揉めるほどのことではない

編集委員　**佐野　浩**

国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」で従軍慰安婦をモチーフとする韓国人の「平和の少女像」や「天皇肖像を燃やす動画」等が出品された。脅迫めいた電話やメールが殺到。実行委会長の大村愛知県知事は「安心、安全な見学のため」「表現の不自由展・その後」コーナーを８月３日で打ち切り発表。

同芸術祭監督の津田氏「『表現の自由』につき議論する場にしたかった」。２日、同会長代理の河村名古屋市長「日本国民の心を踏みにじる行為、中止要求」。同日、菅官房長官「補助金交付は事実確認し、適切対応する」。４日、日本ペンクラブ「行政要人の発言は政治圧力、検閲につながる」。同実行委は「明らかに不当な暴力」（12日、AERA）。朝日新聞「中止招いた社会の病理」（６日）。同日日経「表現の自由巡り波紋」。４日読売「脅迫受け、運営難しく」。

人の中には、記録・想像・空想・妄想したものを文字・音声・絵画・彫像等の作品にし、それを展示したいとの欲求を持つ人がいる。展示の仕方については、絶対的権力者がいる時代は、その権力者の了解が基本的に必要となる。国民が主権者である民主主義社会においては、一般に「表現の自由」とか「検閲の禁止」が法律化されていても、展示の仕方が自由ということではない。例えば「天皇像を燃やす作品」をある作家が作り、あなたの部屋に展示したいと求められた時、あなたはその作品を点検し諾否を決めるはずである。ある人が公共の広場に展示したい場合、一次的にはその管理者が点検し、諾否を決め、最終的には主権者が点検し、諾否を決めることになる。

作品の展示の歴史と展示の諾否の主権者を確認すれば揉めることではない。

給食費用　市、全額（七千五百円）負担の方向　財源（人件費・食材費）大丈夫かの声

今年10月から始まる国の幼児教育・保育無償化で、無償化対象外となった給食費を巡る対応で、全国の自治体が揺れている。自治体が全額負担とする市区町村もあれば、保育施設が給食費を徴収する市区町村もあり自治体によりまちまち。小金井はどうするのか。

14日、江戸の知恵「打ち水日和2019」in小金井を開催。西岡真一郎・小金井市長（右）、住野英進・同副市長（中央）、大熊雅士・同市教育委員会教育長（左）らも参加した

「無償化＝ゼロ」ではない

今回、無償化の対象外となったのは３歳から５歳（就学前）の２号認定の子どもの給食費**（下表参照）**。対象外となった理由は幼稚園（１号認定）と保育所（２号認定）の給食費の違い。幼稚園は基本有料、保育所は無料（東京都の場合）だったため、今回の幼児教育・保育無償化にあたり不平等にならないための措置。しかし、保育所に子どもを預ける保護者からすれば、今まで無料だった給食費が自己負担となる。そのため保育所関係者からは「給食費の分だけ保育無償化の恩恵が少なくなる。保護者に負担を強いるのは気が重い」との声が多く聞かれる。

本紙取材では市が全額負担の意向

そこで分かれているのが自治体の対応だ。地域によっては月額7500円の給食費が現行の保育料より高く「逆転現象」が起きる自治体もあるようだが、「東京都区内では自治体の給食費全額負担が主流となっているようだ」（保育所関係者）。気になるのが小金井市の対応だが、市側は「第３回定例会（９月議会）の争点になりそうなので今月26日の同議会議案の発表までは公表できない」（市保育課）と話す。一方、本紙が関係者等を通じて独自に取材したところ、都区内と同様に給食費全額を市が負担する方向のようだ。

市が全額を負担するとなれば、当該の費用だけでなく、そのための人件費も膨らむ。９月議会の大きな争点の１つになるのは間違いなさそうだ。

内閣府資料より

	現行		➡	無償化後
	1号認定（幼稚園等）	2号認定（保育所等）		1・2号認定（共通化）
※生活保護世帯、ひとり親世帯等は条件が異なる ※金額は月額	保育料	保育料		無償化（給付）
副食費（4500円）	実費			実費
主食費（3000円）	実費	実費（東京は都負担）		

※１号認定＝満３歳以上就学前の学校教育のみ受ける子ども
※２号認定＝満３歳以上就学前の保育を必要とする子ども

市民川柳

電撃婚　電撃発表
世継ぎまで（悪太郎）

家族５人　スマホスマホで
会話なし（岡田義彦）

この川柳・俳句は小金井史談会会報『黄金井』の協力を得て掲載しています。

武蔵小金井シティクロス　郵便局、防災倉庫、子育て支援施設も

フェスティバルコート（手前の広場）と先の武蔵小金井シティクロス内のスペースを連続させ市民のための広場を拡大

武蔵小金井駅南口第２地区の再開発事業の工事完了が10カ月後に迫ってきた。来年６月中旬のグランドオープンを目処に工事が進められている。昨年12月には同地区の愛称が公募により「武蔵小金井シティクロス」に決まっている。

第１地区フェスティバルコート（小金井 宮地楽器ホール西側広場）と連続した市民の集える広場**（写真左）**を設けるなど第１地区、第２地区全体の回遊性向上を目指す。「施設内に防災倉庫を設置し安心・安全な地域づくりに貢献し、地域からの要望の多かった郵便局や子育て支援施設が入る。ここに来ればワンストップで事足りるエリアになるはず」（清水博・同地区市街地再開発組合事務局長）。

「第１地区とのエリアマネージメントも市および商工会を含め検討されており、今後は駅北口を含めた武蔵小金井駅エリア全体が小金井市の核として育つことが望まれる」（同事務局長）

今後は、たとえば市民ホールは第１地区にあるが、新庁舎が完成すれば市役所は移転する。その際には市民サービス関連施設の設置などもまちづくりの上からは検討材料となってくるだろう。

小　金井市では熱中症予防のため主な施設のロビーを開放している。暑さを感じたら遠慮なく利用したい。小金井 宮地楽器ホール、社会福祉協議会、保健センター、地域包括センター、貫井南分館を除く公民館など。基本的に午前９時から利用可能。曜日など詳細は市介護福祉課高齢福祉係☎042-387-9843まで。

パート募集

保育士（有資格者）　時給 1,185円～

就業時間：　①　7:15～11:00
②　15:00～20:00　（勤務地により時間変更あり）

休日等：土日祝他

★遅番出来る方、大歓迎！★遅番・早番手当あり！　★ボーナスあり！
★有給休暇制度あり！　★交通費あり！　★社会保険制度あり！

詳しくは右記までお問い合わせください　株式会社コスモズ　総務部　鈴木・中村　TEL042-383-3030

駅前コスモ認可保育園　小金井市東町4-42-1-206
第二コスモ認可保育園　小金井市梶野町5-8-20-B
荻窪コスモ認証保育園　杉並区荻窪5-6-5-1F
第四コスモ小規模認可保育園　小金井市梶野町5-8-25-101
武蔵境コスモ認可保育園　武蔵野市境1-20-5
第六コスモ認可保育園　小金井市梶野町5-3-25-211
成田コスモ認可保育園　杉並区成田西3-8-12
なかみなみコスモ認可保育園　中野区南台3-6-17-3F
こだはなコスモ小規模認可保育園　小平市花小金井南町1-25-33-1F
第十コスモ保育園　小金井市東町4-10
みたいぐコスモ保育園　三鷹市井口1-9
ふちしらコスモ保育園　府中市白糸台3-44
こだきしゅコスモ保育園　小平市花小金井南町1-25-33-1F

学校の授業が楽しくなる!!　東進塾　小・中・高生　個人指導で弱点補強を!!

二学期生募集中！

中学生　１科目　4,760円より
（週１回、月計４回）
完全個人指導あり

無料体験授業　随時受付中

小学生、高校生も受付中！
詳しくはお問合せ下さい

詳しくはこちらまで

東小金井駅南口すぐ
（コスモ教育センター）
ＴＥＬ（代）０４２－３８３－６４６４
Ｅメール　easternjk@cosmo-kyoiku-center.jp